広告特集 企画・制作 朝日新聞社広告局

LEADERS AS READER
リーダーたちの本棚 VOL.43

名著を繰り返し読み言葉の奥にあるものを探る

READING

人生に影響したキリスト教義

読書にふける就寝前の2時間は、「黄金の時間」です。心の根幹に触れるような思想性のある本を繰り返し読み、行間に思いをはせ、自己と対話します。人間を最も深化させてくれるもの、それが書物だと思います。

毎日のようにページを開くのは、『聖書』です。私は奈良市の生まれで、南都七大寺をはじめ、由緒ある神社仏閣を庭代わりにして↖育ち、両親は仏教徒でした。環境的にはむしろキリスト教から縁遠かったわけですが、聖書を読んで教義にひかれ、18歳のときにクリスチャンになりました。ユダヤ教やイスラム教に通じる旧約聖書の時代から、数千年にわたってあまたの人種によって書き継がれ、読み継がれてきた事実だけでも一読に値すると思います。ここに記されたイエス・キリストの行いは、現代の暮らしに反映し得る不変の真理、普遍の倫理を伝えます。「ヨハネによる福音書」の冒頭に、「初めに言(ことば)があった。言は神と共にあった。言は神であった」とありますが、まさに圧倒的な「ことば」の力によって考えるよすがを与えてくれる書です。

次は、『カラマーゾフの兄弟』です。好色漢の父、直情型の長男、論理派の次男、博愛精神に満ちた三男。彼らの描写を通じて人間のあらゆる性質をあらわにし、家族、恋愛、犯罪、裁判などさまざまなテーマを多重構造でつづります。深層には「信仰」という大きなテーマがあり、私は『聖書』の小説版というとらえ方をしています。初めて読んだのは大学時代で、三男・アリョーシャの生き方に強い衝撃を受けました。彼がキリスト教の矛盾に対する葛藤を乗り越え、大地に口づけするくだりなど、何度読んでも心ふるわされます。

深く感銘を受けた武士の美しい生き方

時代小説では司馬遼太郎さんの作品のファンで、「よくぞこの人物に光を当ててくれた」と拍手を送ったのが、『峠』です。越後長岡藩の一介の武士であった河井継之助が、江戸遊学や西国遊歴を経て藩の重役に登用され、旧幕府軍と新政府軍の対立が深まるなかで「一藩独立」を目指して奔走する姿を描きます。外国人と交流するなど極めて開明的で、封建制度の崩壊をも見通していた河井が、なぜ北越戦争へと向かい、命を散らすことになったのか。司馬さんは、武士としての美意識に注目し、あとがきで、「幕末期に完成した武士という人間像は、日本人がうみだした、多少奇形であるにしてもその結晶の見事さにおいて人間の芸術品とまでいえるように思える」と、述懐します。河井は敗者ですが、正義を重んじ、志を貫いた生涯は尊く、もしも彼が大藩の中枢にいたなら、維新の歴史は違っていたかもしれません。変革期におけるリーダーのあるべき姿を、現代の日本人に示してくれているようにも思います。

藤沢周平さんの時代小説も大好きで、全作品を読破しました。『蟬しぐれ』は還暦を過ぎてから読みましたが、何十回読んでも飽きません。60歳以上でないと本書の真の深みは味わえないのではないかとすら思います。「垂れさがるような黒い雲が空を覆い、夕刻を示す明るみは、北西の空の隅にほんのわずかのぞいている白い雲に残っているに過ぎなかった」といった自然描写は圧巻で、物語の暗示、あるいは著者の心象風景とも受け取れます。そして、主人公の牧文四郎のすがすがしい生き様。仕事で壁にぶつかったときなどに読むと、心が励まされる一冊です。

イー・アクセス 代表取締役会長

千本倖生さん

せんもとさちお

「高速で安価で、誰もが安心して使えるインターネット接続を実現したい」との思いから、1999年にイー・アクセスを創業した千本倖生さん。日本のネット環境にADSLを導入し、ブロードバンドの発展に尽力。近年はモバイル事業に注力し、最新鋭の高速データ通信サービスを展開してきた。そして今月1日、ソフトバンクとの経営統合を電撃的に発表。創業以来掲げてきた「すべての人に新たなブロードバンドライフを。」という企業理念は次のステージに入った。自身の人生に影響した「心の書」を紹介してくれた。

稲盛和夫氏の経営論は私のメルクマール

5冊目は、京セラの創業者である稲盛和夫氏の著書『心を高める、経営を伸ばす』です。先月、日本航空が再上場を果たし、経営のかじを取った稲盛氏の手腕が改めて注目されました。私は、42歳まで勤めた日本電信電話公社(現・NTT)を辞め、84年に稲盛氏と一緒に第二電電(DDI、現・KDDI)を創業しました。「国民生活を支える通信網が、国家の独占であるのはよくない。競争相手を育成しなければ」と稲盛氏に伝え、資金調達などの協力を要請し、起業に至ったのです。社長となった稲盛氏は、どのような心構えで仕事に臨むべきか、会社の成長のために何が必要かを、幹部会議の冒頭で必ず話してくださいました。その内容が凝縮された本書は、私にとってのメルクマール(指標)です。「日々新たに創造する」「信念にまで願望を高める」「大善をもって導く」などの言葉に説得力があるのは、稲盛氏の経験から導き出された哲学だからです。DDIの起業に際しては、予想を超える抑圧や中傷にあい、真っ暗闇の暴風雨の中を突き進むような感覚でした。そのとき去来したのは、本の中にもある「強烈な願望を描き、心からその実現を信じることが、困難な状況を打開し、ものごとを成就させる」といった一念でした。若い人たちはぜひ本書を読み、働く意欲やチャレンジ精神を鼓舞してほしいと思います。

LEADING

安定に向かうマーケットに刺激を

「日本の電話料金はもっと安くできるはずだ」。1985年の日本電信電話公社(現・NTT)の民営化と通信自由化をにらみ、その思いにかられた千本さんは、同社の部長職を捨て、稲盛和夫氏とともに第二電電(DDI)を創業。市外通話料金の大幅値下げなどに成功し、携帯電話やPHS事業でも消費者目線のサービスを展開した。

事業の成長を見届けると、未来の日本を担う若手起業家の育成のため、退職して慶応義塾大学で教壇に立った。大学にいる間、アメリカではインターネット革新が進んでいた。アメリカのネット環境は、常時接続で割安。それに対して日本はダイヤルアップ接続で高額。「このままでは日本のブロードバンドは取り残される」と感じ、大学を去り、イー・アクセスを設立した。

イー・アクセスは、海外で主流だったADSL回線を導入し、高速で定額のネット接続を実現。さらに「モバイル通信の改革が必須」と感じた千本さんは、63歳でイー・モバイルを創業し、のちに同社をイー・アクセスに吸収合併。「イー・モバイル」の呼称は、モバイル通信事業のブランド名となった。

「公共善」という大義が起業の原動力に

「イー・モバイル」は、主軸事業に成長。携帯型無線LANルーター「ポケットWiFi」は、世界最高水準の高速データ通信「LTE」を導入。スマートフォンは、テザリング(※)を搭載した機種を展開し、無制限で利用できる料金体系を業界に先がけて実現した。

そして、世間を驚かせたソフトバンクとの経営統合。9月19日に「iPhone(アイフォーン)5」のテザリング・サービスの開始を発表した同社社長の孫正義氏から熱烈オファーを受け、わずか10日ほどで決定に至った。「イー・モバイルのLTEネットワークとiPhoneが組むことで、我が国のモバイルブロードバンドを世界のトップレベルに引き上げることができる。シナジーが最大になるタイミングは今しかない」と考えたという。劇的な変化を恐れない経営スタイルは、千本さんの生き方そのものだ。決断の潔さはどこからくるのか。

「いつも心を占めるのは、『公』という概念です。消費者により納得できる料金体系や快適な通信環境を提供したい、という大義があるから頑張れる。今後はソフトバンクグループとしてスマートフォン革命にチャレンジしていきます」

1942年奈良県出身。66年京都大学工学部電子工学科卒。67年フルブライト交換留学生として渡米し、フロリダ大学大学院修士課程・博士課程修了・工学博士。66年日本電信電話公社(現・NTT)入社。84年第二電電(現・KDDI)を共同創業、専務取締役。94年同社取締役副社長。96年慶應義塾大学大学院教授就任。99年イー・アクセス創業、代表取締役社長。2005年同社代表取締役会長兼CEO。イー・モバイル(10年イー・アクセスに吸収合併)創業、代表取締役会長兼CEO。10年から現職。

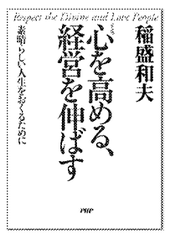
平均年齢30代前半の社員から社外の起業家まで、後進育成にも力を注ぐ。

「賢い人はいっぱいいますが、リスクを恐れず暗闇に第一歩を踏み出す『勇猛心』のある人は少ない。彼らにハッパをかけ、ベンチャー精神を刺激するのも私の仕事だと思っています」

※スマートフォンそのものに中継機の役割を持たせ、パソコンなどをインターネット接続できる機能

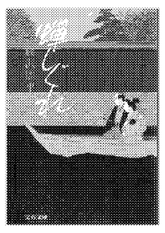
■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、千本倖生さんが語るリーダー論を紹介しています。http://adv.asahi.com 朝日新聞 広告 検索

千本倖生さんがすすめる5冊



『心を高める、経営を伸ばす』
(PHP研究所) 稲盛和夫・著

京セラやKDDIの創業者として知られる稲盛氏が経営者人生のなかで学んだことを集大成。とくにこれから社会に出る若者に向けて、「仕事や人生の途上で障害に行き当たったときに、思い起こしていただきたい」という願いがこめられた一冊。



『蟬しぐれ』(文藝春秋)
藤沢周平・著

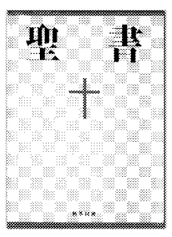
北国の下級武士の子、牧文四郎の淡い恋、父の刑死によって謀反人の子となった悲運と忍苦、そのなかで磨かれた剣の腕と友情の絆、父の死にからむ藩の内部抗争に翻弄されながらも自らの運命に立ち向かっていく姿をみずみずしくとらえた長編。

『峠』上・中・下巻(新潮社)
司馬遼太郎・著

幕末の混乱期を生きた英傑、河井継之助の人物像を鮮やかに描く。越後長岡藩から江戸に出て世界情勢などを探る姿、備中松山の藩財政を立て直した山田方谷との出会い、藩に戻り富国強兵に努める経過、官軍と戦った北越戦争などをつづる。

『カラマーゾフの兄弟』全5巻
(光文社) ドストエフスキー・著 亀山郁夫・訳

帝政崩壊の予兆をはらむロシアのある町で殺人事件が起こり、ミステリータッチの衝撃的なストーリーが展開される。キリストを理想としながら、神か革命かの根源的な問いに引き裂かれ、ついに生命そのものへの信仰に至った文豪の遺作。



『聖書』(日本聖書協会) 新共同訳

カトリック教会とプロテスタント諸教会が共同で翻訳した21世紀の聖書の定番。モーセ五書(創世記・出エジプト記・レビ記・民数記・申命記)、ヨシュア記、士師記など諸書を収録する旧約、4福音書、使徒言行録、使徒による手紙、ヨハネの黙示録などを収録する新約、旧約続編を網羅。

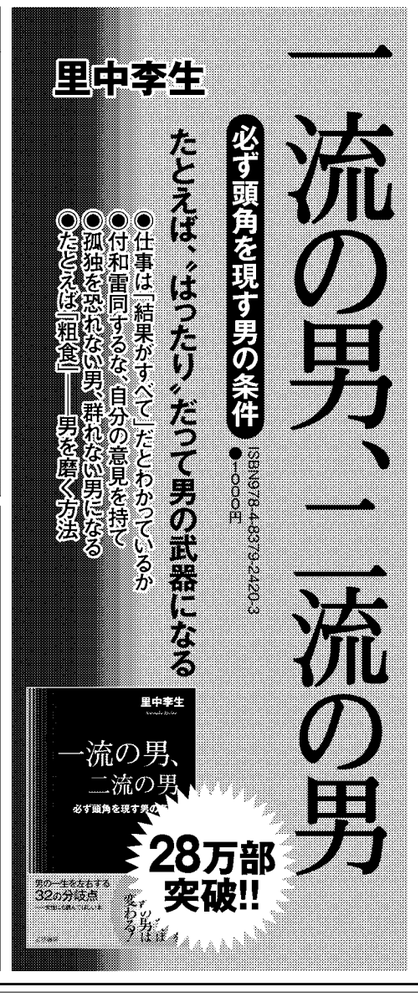
三笠書房 千代田区飯田橋3-3-1 http://www.mikasashobo.co.jp
◎(株)ブックライナー〈フリーダイヤル〉0120-398899(9:30〜19:00)からもご購入いただけます。
◎書籍の詳しい内容は弊社HPをご覧ください。◎価格はすべて税込み。

知的生きかた文庫 最新刊&ベストセラー

曹洞宗徳雄山建功寺住職 枡野俊明
禅、「前向きな心」をつくる生活の基本
自分を大きく咲かせる「90の言葉」
最新刊
ISBN978-4-8379-8152-7 ●600円

禅、シンプル生活のすすめ
一日ひとつ、すぐにできる"心の洗い方"
好評既刊 28刷
ISBN978-4-8379-7797-1●600円

仕事ができる人の「しないこと」リスト
中島孝志
ISBN978-4-8379-8151-0●600円

面白いほど世界がわかる「地理」の本
"世界の見え方"がガラリと変わる!
筑波大学名誉教授 高橋伸夫
筑波大学教授 井田仁康 [編著]
ISBN978-4-8379-8149-7●740円

「おしゃれな女」になる方法
生き方までおしゃれに変わる!
八坂裕子
ISBN978-4-8379-8154-1●600円